

よろっさ やろっさ つなごっさ! 春 まち ぽかぽか プロジェクト



かわらばん! その①

プログラム8 団塊の世代を対象にした、これからの地域での暮らしを考える“これから探し”シニア講座で、講演会を聞いてみよう

2月12日(土) 13時~16時

寺井地区公民館において、

63名の参加のもと、この「春まちぽかぽかプロジェクト」の最初を飾り開催されました。

日	月	火	水	木	金	土
						2/12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26

内容

仕事中心の人生を送ってきた団塊の世代の方々が、退職後に地域活動に踏み出す一歩として、同じ地域に暮らす者同士が体験を通して交流し、心豊かな生き方を考え、仲間づくりをする「団塊の世代これから探しシニア講座」〈全5回〉の3回目「視野を広げる」講演会を、市民のみなさんにオープンにしました。白山市美川町浄願寺住職 藤塚昭久氏に、「自分のくづし方」について、仏法の教えを、ギターを片手に、心に響く歌や、笑いをまぜながら、解りやすくご講演いただきました。後半は、SP(サブパーソナリティ)トランプを用いた、自己の性格分析のワークショップを行い、楽しみながら、長所や短所、隠れた性格やその改善などについて学び合いました。

まとめ・・・死を考えることは、今を如何に生きるかということを考えることであり、人とより良く生きるためには、相手を大事にすること・感謝することが大切だとのお話に、皆さん頷かれています。環境と教育により刷り込まれた自分の「はかり」が、他の人にもあることを理解して、その重くてはずしにくい「はかり」をはずし、相手が良い顔でいられるようにしましょう、そして、同じ世界で、共に認め合い生きることこそ大切であるという、日々の暮らしの基本のお話は、地域福祉につながるものでした。

参加者の感想

- * 教えを基に語られることは、大変に興味深く、日常生活での自分の言動に注意し、感謝していきたい。
- * 笑顔を心得、まわりの人を優しい笑顔にしてあげたい。自分を成長させたいと思いました。
- * 思わず、相手に感謝するという意味で、手を合わせたくくなりました。
- * 深層心理のゲームがおもしろく、参考にしたい。最初に動物の申(子供を意味する)を捨て、ちょっとびっくりしました。でも友達が第一だと、再確認させてもらいました。
- * 自分のしがらみをはずして、関わりを持つことなど、これからの過ごし方が、少し解ったように思います。



人とつながる大切な手! 意志の伝達はOK?



SPトランプで自分の性格を明らかに!

